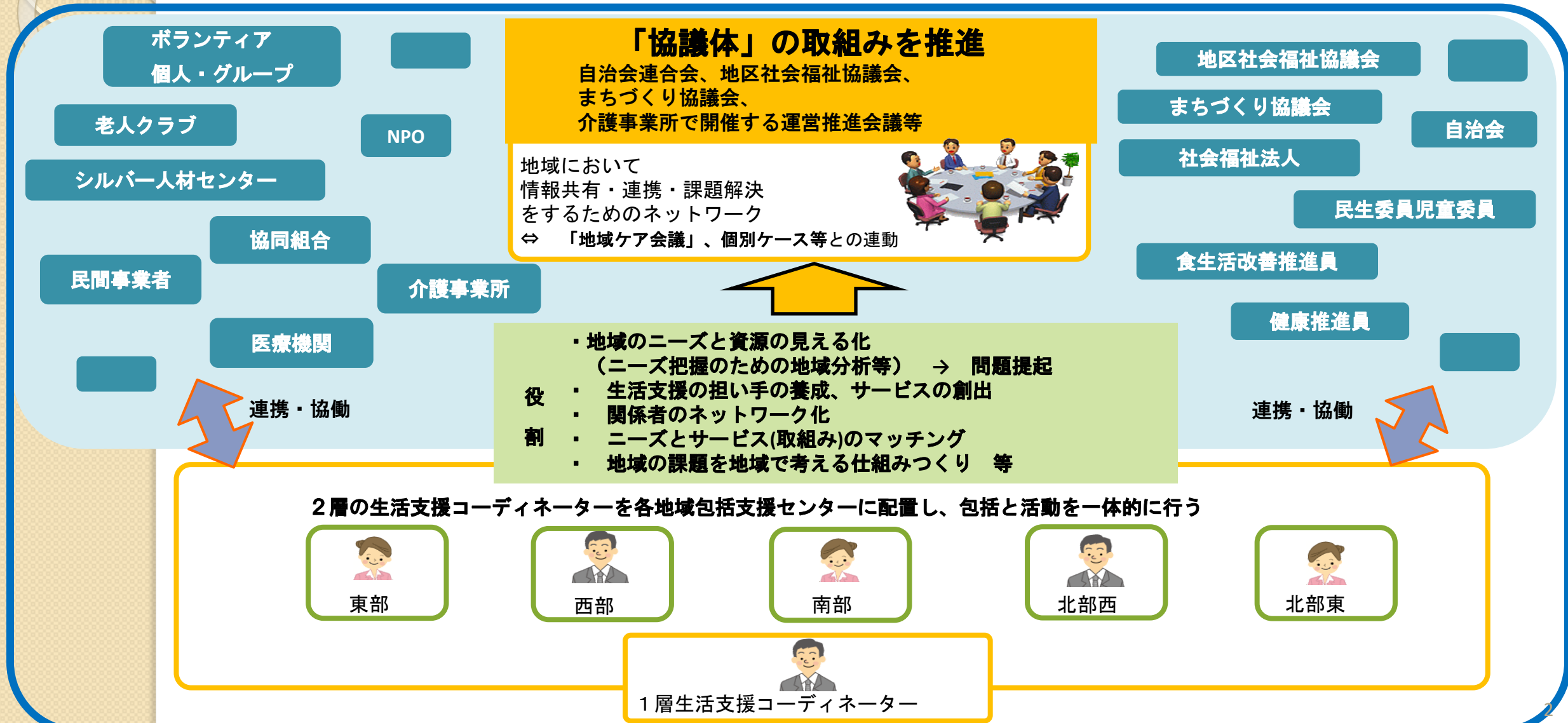


令和 7 年度 生活支援体制整備事業の取組状況について

第 1 層生活支援コーディネーター
桑名市社会福祉協議会

令和 7 年 1 2 月 3 日（水）
地域包括ケアシステム推進協議会

第9期地域包括ケア計画における桑名市の 「生活支援体制整備事業」の基本的な方針



地域課題の分析・ネットワークづくり

- 地区社会福祉協議会連絡協議会
→各地区の活動の情報共有や意見交換等を実施
- まちづくり協議会の設立・運営支援
→まち協の設立準備段階から参画し、設立後も継続的に支援
- 日常生活5圏域での圏域会議
→各圏域の地域課題分析、取り組み検討、連携の模索
- 民生委員や薬剤師、ケアマネジャーとの交流会や連携会議
→地域間ネットワークの強化、見守りの輪を広げる
- 企業との連携
→企業と地域貢献等について話し合い、地域を巻き込んだ活動を展開
- 生活支援コーディネーター会議
→毎月開催して情報交換・支援検討、ゆめはまネットも有効に活用



生活支援コーディネーター活動の見える化

活動事例集が完成！！

- ・ 活動の見える化
- ・ 地域とつながった具体例
- ・ 多職種協働のきっかけづくり

●地域住民等の声

- ・ 何をしているのかイメージがついた
- ・ 市内で具どんな取り組みがされているか具体的な参考になった
- ・ 自分の地区でも取り組めるのでは
- ・ もっと知ってもらったほうがいい

生活支援コーディネーターは、、、

裏方として動くことが多い
何をしているのか見えにくい

自分たちの活動を知って欲しい
知ってもらうためのツールが必要

積み重ねてきた経験や知識が強み
活用すれば地域はもっと良くなる



まちづくり支援～行政との協働～

今まで行政・生活支援コーディネーターは・・・

それぞれが別々に地域と関わり、支援をしていた
お互いの動きが見えにくかった

地域住民・行政・生活支援コーディネーターにとって目指すところは皆同じ
「暮らし続けることが出来るまちづくり」

これから・・・

お互いが意識的に連携をして、地域と関わる
情報を共有して動きを見える化する

R7年度に協働で
「まちづくり研修会」
を企画！！

生活支援コーディネーター会議に地域コミュニティ課も参加
ゆめはまネットに登録して動きを共有

今後に向けた取り組み

- 社会的孤立
→ 地域活動の提案・周知啓発、社会参加のきっかけづくり
- 見守り・助け合いの希薄化
→ 生活支援サービスへの参加を通じた就労的活動支援、社会的役割の創出
- フレイル（身体・認知的機能低下）
→ 通いの場等の立ち上げ支援、地域資源の創出

持続可能な地域生活を具体的にイメージして取り組む

- それぞれの地域の実情を理解・分析する
- 地域住民の声を聞き、課題の見える化をする
- 地域の組織と積極的に関わり、活動の提案を行う

